

愛知県(県域)

1 産地の概要

<対象品目> デントコーン

<産地の現状・課題>

愛知県の酪農経営は、近年、飼料の価格高騰や不安定な供給のため経営が圧迫されている。そのため、地域内での粗飼料生産を求める声が高まり、県内においてもデントコーンの栽培・供給を行い始めた。

本県のデントコーンは耕畜連携により生産されており、生産コスト低減、省力化が求められている。そこで環境に配慮した生産性の高い省力的なデントコーン栽培体系の確立に向けた取組を進めるため、土壌分析及び家畜ふん堆肥利用に伴う化学肥料の低減と、長期緩効性肥料による追肥作業を削減した栽培体系を実証した。

2 検討体制

<愛知県組織と関係機関の役割>

- ・農業経営課(事務局)
- ・農業革新支援センター(事業のコーディネート、技術指導、検討会等開催、実証ほの調査支援、栽培マニュアル・産地戦略まとめ、先進地調査)
- ・農業普及指導センター(農業者との調整、実証ほの進行管理・調査、技術指導、検討会等参加、先進地調査)
- ・農業総合試験場畜産・作物研究部(技術指導、検討会参加、先進地調査)
- ・農業者(耕種)(実証ほの栽培管理、技術の検証、データ収集)
- ・愛知県酪農協・酪農家(堆肥供給)
- ・JAあいち経済連(肥料設計協力)



普及指導員による実証ほの調査

3 グリーンな栽培体系

<環境にやさしい栽培技術>

取組項目	作業段階	新たに取り入れる技術
化学肥料の使用量の低減	施肥・土づくり	堆肥の肥効効果を加味した化学肥料施肥量の削減

<省力化に資する技術>

作業段階	新たに取り入れる技術
施肥・土づくり	緩効性肥料の活用による追肥作業の削減

4 活動内容及び得られた成果

<活動内容>

環境にやさしい省力的なデントコーン栽培のために家畜ふん堆肥の活用と土壌診断による化学肥料の削減、緩効性肥料による追肥の削減、プラスチック被覆でない肥料の利用の実証を行った。

<実証結果>

堆肥の活用により化学肥料のリンと加里を100%削減できた。また、可給態窒素の分析によりさらに窒素の削減が70%以上できたほ場もあった。また、プラスチック被覆でない緩効性肥料の利用によりプラスチックによる環境負荷を防ぐとともに追肥作業を削減することも出来た。

5 今後の展開

環境に配慮した生産性の高い省力的なデントコーン栽培体系の拡大と普及